

東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会
第16回議事要旨(案)

- 1 開催日時 平成20年10月21日(火) 15:00~17:00
- 2 開催場所 ホテルイースト21東京 3階 永代東の間
- 3 出席者 中杉委員長、岩崎委員、小川委員(区)、織委員、風祭委員、川名委員、佐竹委員、佐古委員、細野委員、村山委員

4 議事〈公開〉

議事「東京PCB廃棄物処理事業における操業状況について」

事務局から、資料に基づき、施設の操業状況、環境測定結果、トラブル報告、安全教育訓練、ヒヤリハット等について説明。

主な意見は以下のとおり。

- ・トラブル報告が多く、設備が実験的な施設の印象が受ける。トラブル対策ためのオーバーホールも必要であり稼働率への影響はないか
(JESCO) 対象物が計画以上に想定外のものが多くトラブルの一因ともなっている。安全第一に進めており、ひとつひとつ対処している状況である。そのため処理を停止する場合も多い。オーバーホールは定期検査工事として稼働率への影響も見込んでいる。
- ・トラブル等により処理計画が変更せざる得ないことはやむを得ないことであるが、期限を超えることがないようにその都度処理計画を見直し、対外的に示す必要がある。
- ・水熱分解設備冷却器トラブルについては、必要に応じメーカー等も協力して並列器の設置等再発防止策を検討すること。
- ・PCB処理量はあがっているが、無理をせず安全第一に処理を行なうこと。
- ・トラブルは小さなものでも報告すること。
- ・トラブルにおける5事業所間の横展開はできているか
(JESCO) 処理方式の違いもあるが、日常の情報提供だけでなく定期的に場を設け展開を図っている。
- ・地元町内会の施設視察を予定しているので、PCBの有害性等についてわかりやすく説明願う。
- ・トラブル解決は対処療法だけでなく、問題意識を持って建設的な対処法を願いたい。
- ・ヒヤリハットにおいては重要度のランク別の件数と、重要度の高いものについて報告すること。
- ・作業員のモチベーションをあげることが大事。それにより、安全衛生、環境影響等についても好影響が出ると思われる。
- ・教育実績表については、1年分の実績を報告されたい。
- ・環境安全委員会については議事録を作成すること。